

## ご報告・四ツ倉高校避難所に蓬菜町会の7名と行ってきました。

谷根千・駒込「光源寺隊」第5便 H23年5月18日 島田富士子



『千成り市』の焼きそばの鉄板を使用しました。焼肉、玉ねぎとピーマンの野菜炒め、キャベツときゅうりの浅漬け、里芋と白菜のみそ汁。



70日間、避難所のお世話役を買って出た避難者はたった3人。左から由美さん、新妻君、長沼君。まとめ役の本柳さんは不在。みんなとメールで繋がっています

★今回の目的は2つありました。四ツ倉避難所へ120名の夕食を届けると同時に、今後東京に震災があれば直ちに避難所が開ける体制を自分たちで作れるように、町会役員が研修することが大きな目的でした。タイプの違う避難所を訪問し、衣類やトマトをお届けしました。お邪魔にならないように各人が入室して体感し、質問の重複もなく控えめな態度で接することができました。「大人数の見学者」などという失礼がないよう気遣いながら行動しました。



久が浜の惨状。遠くに防波堤が見え、その向こうに、砂浜と小さな港が広がる。火事で焼けた家は、柱を倒して片付けられていました。海に向かって手を合わせてきました。



「ありがとう、何度もごちそうをありがとう」と声をかけて下さった。「ずいぶん長くなっちゃったわねえ」と言うと「ほんただよ。早く出たいよ」と。

★**地元いわきの方**「ふるさと往来倶楽部」の元編集者長鈴木英子さん（薄磯の被災者）が前回の第4便の時と同様、友人の吉野茂子さん、山野辺さん、三平さんと4人で2時に四ツ倉に駆けつけてくださいました。また、その3人をご紹介くださった石塚理子さん（千成り市の衛生責任者・いわき出身）も2時に合流してくださり、先遣隊は5人でした。「日赤提供の200人鍋」でみそ汁を作って待っていてくださり、町会と合同の光源寺隊は4時に四ツ倉避難所に到着するまで、たくさんの地域を見ることができました。当日の18日は多くの浜辺で合同慰霊祭が行われ、そのあとみなさんが駆けつけてくださり、胸が痛みました。

★**駒込蓬菜町会のご厚意**で、食材、ガソリン代、昼食代などをご負担いただき、光源寺隊としては軽微な出費でした。光源寺隊の予算は残り少なく、有難かったです。町会よりふたつきの使い捨て食器が提供され、焼肉とおかず2種を均等に衛生的に、一気に130人分盛り付けることができました。配食には揃いの器が理想です。ちょっともったいないのですが、いい勉強になりました。

★**冷蔵庫**（4月8日の光源寺隊が運び込んだもの）についてご報告します。

ボランティアの本柳さんからの報告です。避難所となっている体育館の電気の容量が20Aしかなく、現地の要請のもとに光源寺隊が運び込んだ小さな冷蔵庫が使えませんでした（すでに冷蔵庫中型1台と洗濯機1台が稼働中で、無理は分かっていたましたが、現物が来れば問題は打開できるとの現地の判断でした）。

雨が当たるところしかないので、四ツ倉支所に預かってもらいに運び込むと、「上司にきかないと通電できない」といわれ、「上司が夕方までに引き取ってもらうようにとのことです」となり、市内にある災害NPOの『日本ユニバ』の倉庫に保管されました。ところがあくる日、支所から「避難所に隣接する体育館の倉庫を片付けてほしい」といわれ、片付け終わったところで「ここに置いていいです」と支所の職員に、あっさりと言われました。四ツ倉支所とは、こんなやりとりの連続です。なぜいつも冷淡に接するのでしょうか。



左の小型が5月8日に運び込んだ冷蔵庫。初夏に向かい、食中毒を防止のため、どうしても支援したかったもの。冷蔵庫の上の箱は、今回届けた豆腐40丁。入らなかったのを置きました。

また冷蔵庫を取りに行つて、やつと避難所のものになりました。洗濯機は別の場所に移動したとのことでした。要請のもとに冷蔵庫とは別に運び込んだ洗濯機は、どうしても電気容量が無理なので、勿来の避難所に4月9日に『大喜びで』でもらわれていきました。私のがぞいてみると2台になった冷蔵庫には肉や干物などが善意のお金で買われ、100人分には少ないけれどいっぱい詰まっていました。

★**大なべ**を菊地京子さんが、急遽閉店となった谷中銀座の魚亀さんから獲得されました。中華なべ、大きなフライパン2個、大なべなど、いずれもプロ用の道具を四ツ倉避難所に手渡しました。食事係の方々が目を輝かせて、「料理のメニューがふやせてうれしい」と鍋に抱きついて喜んでくださいました。

★**支援の難しさ**について、次にご報告する本文に加えます。是非、流し読みでなく、お目通しをお願いいたします。また、千駄木の岩本さんのご提案でエクセルで行動表を作ることができました。とても分かりやすく、添付します。



昼食で残ったカレーパンが、夕食後まで自由に食べられるようにと置かれていました。陽気が気になります。『光源寺隊』の鍋がなかった40日間は、主にパックのご飯と、この菓子パンでした。時々、善意の「炊出し」が立ち寄ってくれたのがうれしかったです。

